

ま ち の 話 題

豊岡

子どもの野生復帰大作戦 自然の中耳をすませば 鳥の声

7月12日から13日までの1泊2日、子ども
の野生復帰大作戦「親子ファミリィキャンプ」
を、奈佐森林公園で開催しました。

当日は、約120人の親子が飯ごう炊さん
で夕食づくりに挑戦したり、キャンプファイ
ヤーやクラフトをして大自然の中で親子や他
の家族と交流を深めました。

2日目は、親子で自然ビンゴゲームに挑戦。
自然遊歩道を歩きながら与えられた課題の
「虫」「鳥の声」「トゲのあるもの」「キノコ」
などを探しました。子どもたちは「自然の中
で遊べて楽しかったです」と額に流れる汗を
拭きながら笑顔で話していました。



▲竹を切って夕食で使うはしを作る親子

城崎

第19回全国トンボ市民サミット豊岡大会 トンボも住める環境を みんなで考える

6月28日・29日の2日間、第19回全国トン
ボ市民サミット豊岡大会が城崎町の桃島池周
辺で開催され、約130人が参加しました。

この大会は、トンボをシンボルに掲げ、自
然環境の大切さを考えていく年次大会で、桃
島池に生息する絶滅危惧種であるヒヌマイト
トンボの観察会や、トンボの置かれた現状や
トンボを取り巻く環境について理解を深める
シンポジウムなどが行われました。

シンポジウムでは、ドイツのトンボ研究者
ワナー・パイ博士が「日本の人々がトン
ボを守り、親しみを持って接している姿を見
て感動した」と語りかけました。



▲トンボの置かれた現状の解説に熱心に耳を傾ける
参加者たち

竹野

第17回川に親しむつどい 川遊びは、楽しいよ!!

7月13日、竹野川(竹野町小丸)の川原で、
「第17回川に親しむつどい」(竹野ふるさと創
生協会主催)が開催され、魚のつかみどりや
バーベキュー、竹野川ウルトラ○×クイズな
どの楽しい催しに525人が参加しました。

魚のつかみどりは、ニジマス800匹、ア
マゴ500匹とウナギ20匹が泳ぐ仮設のいけ
すで行われ、子どもたちは網で次々に魚を獲
り、大喜びでした。また、川の浅瀬では、水
遊びを楽しむ親子の姿も見られました。

鮎も住む竹野川が、いつまでも美しく、み
んなに親しまれる川であってほしいという熱
い思いが込められたイベントでした。



▲魚のつかみどりに奮闘する参加者たち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。

日高

老人学園開講式・講演会と健康劇

認知症の熱演に

会場は釘付け!!

7月3日、日高地区公民館の老人学園開講式に合わせ、講演会と健康劇が、日高農村環境改善センターで行われ、会員など約250人が会場を埋め尽くしました。

第1部は「認知症」についての講演、第2部では「老後をいきいき生きよう」と題した健康劇が上演されました。この劇は、元保健師の60〜80歳代の女性グループ「ふれあいの会」と地元有志により、嫁が自宅で両親の介護に孤軍奮闘している様子や、地域での見守りの大切さなどが演じられ、参加者は真剣に見入っていました。また、老人会の友愛訪問の大切さを再確認し合う、有意義な一日となりました。



▲認知症があり徘徊する義母と寝たさりの義父を自宅で介護する嫁を演じる皆さん

出石

子どもも大人も 消火訓練にチャレンジ!

災害時に役立つ体験教室



▲消火訓練にチャレンジする参加者たち。狙った所に届くかな

7月8日、災害時に役立つ体験教室を出石B&G海洋センターで開催し、1歳から5歳までの幼児と保護者ら132人が参加しました。当日、参加者は消火器を使った消火訓練や地震時の心得などの説明を受けた後、消防車や救急車を見学。子どもたちは、消防服に身を包み、消防士の気分になっていました。続いて非常食のカンパンやアルファ化米を試食し、災害時の行動について気持ちを新たにしています。

消火訓練に挑戦した川見麻紀さん（出石町宮内）は「いざという時のために消火器の使い方を練習できて良かったです」と満足そうでした。

但東

第2回七夕コンサート

お寺でハワイアンダンス

地域を盛り上げる

7月5日、第2回七夕コンサートが但東町赤花の法華寺（鬼子母神）で開催され、多くの人でにぎわいました。

この催しは、故郷の創生と心のバリアフリーを願って昨年からはまったもので、今回は、神戸のフラダンスグループのハワイアンダンスと地元バンドの生演奏が行われました。ダンスでは、レッスンの時間もあり、来場者も加わり一緒に楽しく踊りました。

住職の吉木英雄さんは「ダンスやバンド演奏に触れることで、地域の方が元気になって、活性化につながればいいなと思います。今後、も続けていきたいですね」と話していました。



▲みんな上手に踊れたかな？ハワイアンダンスで楽しい七夕♪